

教科	農業	科目	農業と環境	単位数	2 単位	学年	1 年	コース	F
使用教科書	農業と環境(実教出版)			使用副教材等	プリント 視聴覚教材				

目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野で活用する基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 農業と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 農業と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3) 農業と環境について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	農業生物の育成と農業生産について理解するとともに、関連する技術を身につけようとしている。	農業生物の育成と農業生産に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	農業生物の育成と農業生産について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期試験</li> <li>農業技術競技</li> <li>実習技能の習得</li> <li>小テスト</li> <li>実習記録簿</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期試験</li> <li>実習状況の観察</li> <li>ワークシート</li> <li>実習記録簿</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業技術競技</li> <li>実習技能の習得</li> <li>小テスト</li> <li>実習記録簿</li> </ul>
担当者からのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>座学と実習とのつながりを意識して授業に取り組んでください。</li> <li>実習では特に時間厳守を意識し、服装や身だしなみを正しく整えて授業に臨むようにしてください。</li> <li>座学および実習では、自ら行動し(自主性)、仲間と協力して(協働)、片付けまで集中して(責任感)取り組むようにしてください。</li> <li>実習で学んだ内容は、実習記録簿に詳しく記入して期限に遅れないように出すことを心掛けてください。</li> </ul>		

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準	
1	4 1 7	○授業オリエンテーション (授業の進め方や実習に関する諸注意、評価の仕方などを学ぶ)	(知):知識・技術 (思):思考・判断・表現 (態):主体的に学習に取り組む態度	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>第1章 農業と環境を学ぶ 3年間を通して行う農業クラブ活動についての理解を深めます。また、自発的に農業クラブ活動へ参加する姿勢を養います。</li> <li>第3章 栽培と飼育の基礎 作物栽培に必要な知識を身に付けます。果菜類の代表として、スイートコーンを選び、果菜類の生育の特徴を学習します。</li> <li>第4章 栽培・飼育と環境のプロジェクト スイートコーン栽培を通して、野菜生産の現状を知り、野菜の栽培に興味・関心を持ち、野菜の生理・生態や生育環境の理解と基本的な栽培技術の習得を目指します。</li> </ul>	<b>座学</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校農業クラブ活動の目標や組織について理解できる。(知)</li> <li>農業鑑定競技の内容を理解できる(知)</li> <li>植物の特性および栽培の基礎を理解できる(知)</li> <li>提出物を期限内に提出することができる。(態)</li> </ul>	<b>実験・実習</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校農業クラブ活動に興味・関心を持ち、積極的に取り組むことができる。(態)</li> <li>露地栽培に関する基礎的な知識・技術について理解し、農業の基本的な作業ができる。(知)</li> <li>実習ごとの自分の役割を把握し、行動できる。(思)</li> <li>実習での気づきや考えたことを実習記録簿にまとめることができる。(思)</li> <li>仲間との協働・協力を積極的に図ろうとしている。(態)</li> </ul>
2	8 1 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2章 私たちの暮らしと農業・農村 食料と生産、食料の供給や我が国の農業の特色、農業を支える自然環境について理解し、考察する学習活動を行います。</li> <li>第4章 栽培・飼育と環境のプロジェクト ハクサイ栽培を通して、野菜生産の現状を知り、野菜の栽培に興味・関心を持ち、野菜の生理・生態や生育環境の理解と基本的な栽培技術の習得を目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>植物の特性および栽培の基礎を理解できる。(知)</li> <li>肥料計算ができる。(知)</li> <li>提出物を期限内に提出することができる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>露地栽培に関する基礎的な知識・技術について理解し、農業の基本的な作業ができる。(知)</li> <li>実習ごとの自分の役割を把握し、行動できる。(思)</li> <li>実習での気づきや考えたことを実習記録簿にまとめることができる。(思)</li> <li>仲間との協働・協力を積極的に図ろうとしている。(態)</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>第2章 私たちの暮らしと農業・農村 農業・農村の役割について学び、これからの社会に向けたあり方、創造について考察する学習活動を行います。</li> <li>第4章 栽培・飼育と環境のプロジェクト プロジェクト学習を通して、科学的な思考力、判断力、表現力を身に付け、コミュニケーション能力を高めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他のグループの発表内容を聞き、積極的な意見交換ができる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト学習の実験結果をわかりやすく伝える工夫ができる。(思)</li> </ul>
3	1 3	○1年間の授業内容を振り返りおよびまとめ (圃場の1年の流れを振り返り、次年度の学習につなげることができる。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年間の作業を振り返り、自己の成長を正しく評価できる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>栽培管理の目的を理解したうえで、生育段階に応じた管理作業を的確に行うことができる。(知)(思)</li> </ul>